

# 2-1

## 渋滞を減らす『渋滞損失時間』

平成17年度  
達成状況の報告  
平成18年度  
事業計画

安全で快適な走行環境

安全で快適な歩行環境

地域間および港湾・空港との連携

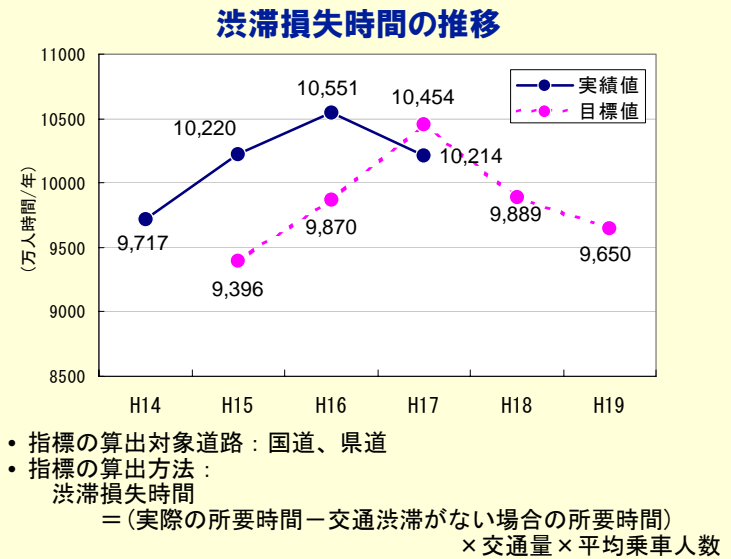
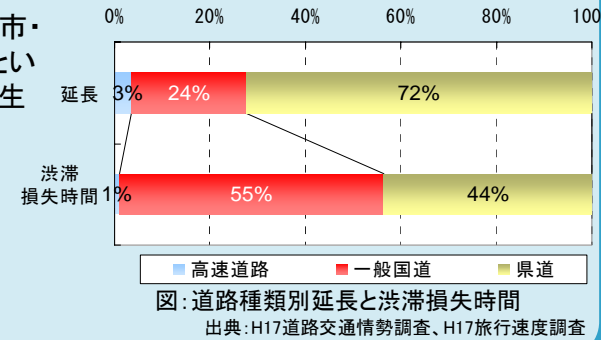
### 計画 Plan 平成17年度成果目標

実績値H16	10,551 万人時間/年
目標値H17	97 万人時間/年削減 (10,454 万人時間/年)

- 一般国道をはじめとする幹線道路のバイパス整備や4車線拡幅を推進。
- 97万人時間/年の渋滞損失時間削減を目指します。

### 現状と課題 渋滞が集中する一般国道の交通円滑化が課題

- 道路延長(県道以上)が約1/4である一般国道に、渋滞損失時間の半分強が集中しています。(占有率約2.3倍)。
- 渋滞は、水戸市、土浦市・つくば市、日立市周辺といった都市圏で顕著に発生しています。



### 実施 Do 平成17年度の取り組み

幹線道路のバイパス整備等に取り組みました

#### 事例①【一般国道461号花貫踏切除却】



- ・走行速度が10km/h向上
- ・年間約60t(森林面積6haに相当)のCO<sub>2</sub>排出量削減

#### 事例②【主要地方道野田牛久線(都市軸道路)】



- ・ふれあい道路天神～(主)野田牛久線松波までの所要時間が短縮(約13分⇒約5分[約8分(6割)短縮])

### 計画 Plan 平成18年度成果目標

#### 平成18年度の目標

平成18年度は下記をはじめとする道路施策・事業により、平成17年度の10,214万人時間/年から、325万人時間/年(3.2%)の削減を目指します。

実績値H17	10,214 万人時間/年
目標値H18	325 万人時間/年削減 (9,889 万人時間/年)
目標値H19	564 万人時間/年削減 (9,650 万人時間/年)

#### 平成18年度の渋滞損失時間削減に寄与する主な道路施策・事業

“現在進めている事業の継続”

- 一般国道6号榊橋 (L=1.0km)
- 主要地方道 土浦竜ヶ崎線 (L=1.6km)
- 首都圏中央連絡自動車(圏央道)つくば牛久IC～阿見東IC (L=12.0km) 等

“更なる取り組み” 反映 Action

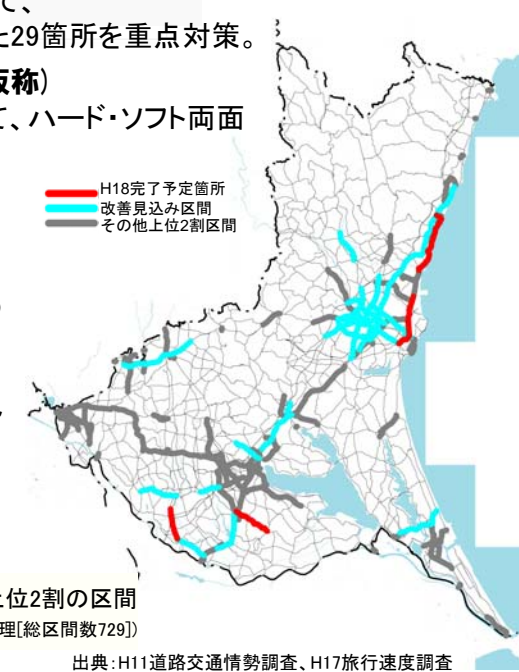
#### 渋滞見える化プラン

「道路見える化計画」の一環として、みなさまの意見を踏まえ抽出した29箇所を重点対策。

- 水戸都市圏渋滞対策委員会(仮称)  
水戸都市圏の渋滞解消に向けて、ハード・ソフト両面から渋滞対策を検討。

- 右図は県内幹線道路の区間別kmあたり渋滞損失時間を高い順に並べ、上位2割に該当する区間を示したものです。このうち各種道路施策・事業により渋滞緩和効果の見込まれる区間に着色しています。
- 上位2割区間のうち事業中箇所は46区間で、平成18年度は5区間で事業完了を予定しています。

#### 道路見える化計画

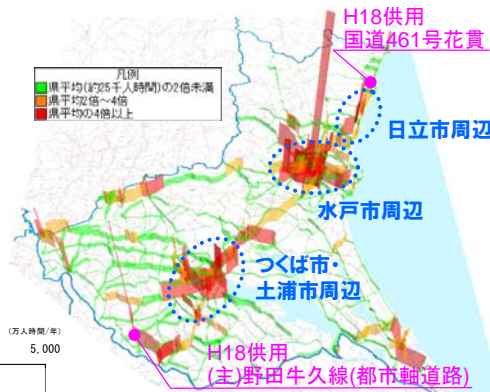
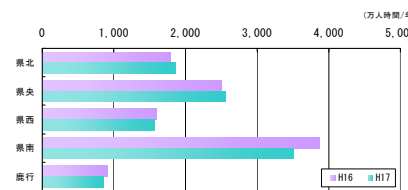


### 評価 Check 平成17年度の達成状況

目標値H17	97 万人時間/年削減 (10,454 万人時間/年)
実績値H17	10,214 万人時間/年
達成状況	目標達成

- 平成17年度は337万人時間/年(3.3%)の減少となり、これまでで初めて渋滞損失時間が改善し、目標を達成しました。県南地域での減少が目立ちます。
- 平成17年の交通量調査では、平均交通量は6年前と大きく変わりありません。これまでに実施した道路事業の効果が計上されてきたことが改善の一因と考えられます。
- しかし、水戸市をはじめとする代表的な都市部周辺では、あいかわらず渋滞が集中しています。

図: 地域別渋滞損失時間(H16・H17比較)



#### 反映 Action

混雑箇所は、依然として存在

渋滞緩和に向け、現在進めている事業の継続に加え、更なる取り組みを実施